

ミヤコシ

## 抜きもバリアブルで - ラベル用レーザー加工機開発 -

ミヤコシ(千葉県習志野市 ☎047-493-3854)はこのほど、ラベル業界向けに、刃型不要のレーザー加工機「MSP13A-1000」を開発した。11月27日～29日の3日間、ミヤコシテクノセンター(千葉県八千代市)で開催のオープンハウスで、新開発の高速IJPやラベル用オフセット輪転機とともに同レーザー加工機を一般公開する。

近年ラベル市場は極小ロットや、小ロット多品種を短納期で生産するニーズや、新たな付加価値製品を構築するため、オンデマンドプリンターへの注目が高まっている。その一方で、小ロット・バリアブル印刷に対応した後加工機へのニーズも増えてきている。そこで、同社ではバリアブル印刷の後加工機に今後の需要を期待してMSP13A-1000を開発。同機は加工速度毎分10mでハーフカットはもちろん、全抜きにも対応する。しかも刃型不要のレーザーで加工するというもの。

同社がこれまでビジネスフォームで培ってきたノウハウを生かし、レーザー加工前後の独自の搬送形態により機械全長1500mmとコンパクトな構造に設計。また、最大巻き取り紙幅は342.9mm(13.5インチ)、最大加工幅は330mm(13インチ)とラベル印刷業界向けのナローウェブ仕様で設計。

操作パネルはタッチスクリーン方式を採用し、運転操作・サイズ入力・レーザー出力設定を一貫操作できるため、従来機よりもスキルレスで生産効率も大きく向上している。

11月27日～29日に開催のオープンハウスでは、同時出展するラベル用フルカラーインクジェットプリンター「MJP13LX-2000」と連結も可能で、インラインでバリアブル印刷とバリアブル加工ができる。

(2012年11月12日 包装タイムス 掲載)